

●プレイジム 社訓(抜粋)

・特別支援教育・療育、障害福祉の高度な専門家としての誇りと自信をもち、私たちの心と直感を信じ積極的に行動する専門家集団であり続けます。

・共感的理解に基づく支援を通して、利用者の信頼を得ることができる専門家であるように努めます。

・スタッフの真摯な遊び心で利用者の世界を共に楽しみ、その世界を起点として広がりのあるゴールを目指す姿勢をもつことに努めます。

・科学的根拠に裏付けられた専門的な知識と技術の研鑽を惜みず、学会などで発表された最新の理論・技術を、現場の支援に即時応用することができるよう務めます。

・既存概念を乗り越え自らを脱構築することで私たち自身の在り方を問い続け、新しい特別支援教育・療育、社会福祉の世界を創造します。

●事業内容・サービス提供時間:
児童発達支援 14:00~16:00
放課後等デイサービス 16:00~18:00

●営業日:月曜日~金曜日(平日)

●定員:10名(児童発達、放課後等デイ合わせて)

●実施地域:姫路市、高砂市、加古川市、揖保郡太子町、たつの市、佐用郡佐用町、宍粟市

●スタッフ:11名(児童指導員、保育士、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、准看護師、社会福祉士、特別支援教育士SV)



2019.4.1

プレイジム

〒672-8089

兵庫県姫路市飾磨区英賀宮台51

TEL/FAX 079-227-4110

事業所番号 2854001225

HP <http://playgym.info>

Mail info@playgym.info



Facebook



Website



山陽電鉄「夢前川駅」徒歩12分
JR「英賀保駅」徒歩15分

株式会社アニマシオン

animacion.co.jp

Next Move

新たな”次の一手”を創造します

児童発達支援・放課後等デイサービス事業



プレイジム®へようこそ

プレイジムは、発達サポートを必要とする子どもとご家族のために専門的なアプローチを提供する児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援事業所です。

プレイジムでは、専門的なアセスメントに基づき、それぞれの子どもにとって意味のある活動を個別に選択し実施します。大切なことは、「なにをやるか」ではなく、「なんのためにやるのか」ということです。そして活動を通して子どもたちの“本当の願い”が満たされ“新しい自分をつくっていく”ことを目指しています。

プレイジムの支援には、発達支援とアニメーション活動の2つがあります。「問題がなくなる」「できるようになること」だけでなく、特性に配慮しながら子どもとしてあたりまえの生活や発達を保証し、「子どもの想いを実現すること」を大切にしています。

プレイジム代表

太田 篤志



姫路獨協大学・客員教授。日本感覚統合学会・理事。日本スヌーズレン協会・理事。日本自閉症スペクトラム学会・理事。特別支援教育士SV

略歴：学童保育・保育園、重症心身障害児施設での作業療法に従事した後、広島大学医学部・学部内講師、姫路獨協大学・教授などを歴任。感覚統合機能検査の研究開発に携わるとともに、療育センター、小中学校・特別支援学校などの現場にて発達障害児に対する作業療法・感覚統合療法などを指導。2012年に姫路獨協大学教授を退任し、客員教授に就任。2014年、(株)アニメーションを設立。

発達支援

自分のやりたいことを出発点に、苦手な部分の発達も促すことができる個別支援計画を作成し、能動的に動く力、学ぶ力、学んだことを遊びや生活のなかで活用できる力を育みます。“できた!” “わかった!”という経験を通して、本来の学びの楽しさを感じて頂きたいと考えています。

感覚・運動機能

すぐに転んでしまう、身のこなしが悪いなどの体の不器用さや、触られることや雑音が苦手などの感覚の問題などに対して、その原因を明らかにするとともに、運動特性や発達段階に応じた感覚統合理論を基盤とする治療的遊びを用いて、感覚運動発達支援の専門家である作業療法士、理学療法士が支援します。

ことば・考える・学ぶ

ことばの遅れは、保護者にとって気になる発達の状態です。ことばの発達は、言葉を繰り返し教えるだけでなく、子どもにとって意味のあるコミュニケーションのなかで育っていきます。言語聴覚士を中心に、遊びを通して、本当の“ことば”を獲得できるように支援します。またお子さんの特性に応じて、絵カード用いたコミュニケーション(PECS)を用いて、子どもたちが他者とやり取りする楽しさや有用性を体験できるように支援します。認知発達の遅れに対しては、まず認知の土台となる機能(視知覚、記憶、数概念)の成熟を図り、その上に基本的な学習スキル(読み書き計算)、さらに生活で必要となるライフスキルとしての認知機能を構築できるように認知学習を専門とするスタッフが支援します。

ディスレクシア(読み書き障害)

学習障害の一つである読み書き障害に対する専門支援を実施しています。専門的アセスメントをもとに、苦手さの特性を特定し、音韻処理や語彙の獲得のための支援、合理的配慮としてのICT機器(デジタル教科書等)の活用などをサポートします。

アニメーション

知的好奇心の広がり

アニメーションの概念に基づく活動を提供します。アニメーションとは、特定の能力やスキルを高めるために行う教育や治療的活動ではなく、支援者や子どもと一緒に、自分の好きな活動(遊びや趣味的活動)を通して、面白さ・楽しさ・歓びを追求・共有し、生き生きとした時間を過ごすことを大切に考える考え方です。プレイジムでは、子どもたちの知的好奇心を満たすアニメーション活動の場を提供したいと考えています。



研究活動・情報発信

プレイジムは、自分の実践をたえず見直し、その効果を客観的に捉えるとともに、積極的に学会など学術的な場で実践・研究発表を行っています。また現場実践を整理、体系化し、その知見を他の事業所とも共有できるように書籍の発行や様々なワークショップなどを開催し情報発信に努めています。

